

中部地方整備局 名四国道事務所における取組

国土交通省中部地方整備局

名四国道事務所調査課

山内扶美



～ 三河地域の未来を創る道づくり ～

国土交通省 名四国道事務所

1. 名四国道事務所の事業概要

○ 年間予算 約300億円

○ 事務所職員数 約70名

(6課、2出張所、3(現場)監督官)

○ 事業内容 愛知県内のバイパス整備

(国道23号、153号、155号)



～ 三河地域の未来を創る道づくり ～

国土交通省 名四国道事務所 2



153

豊田西バイパス

23

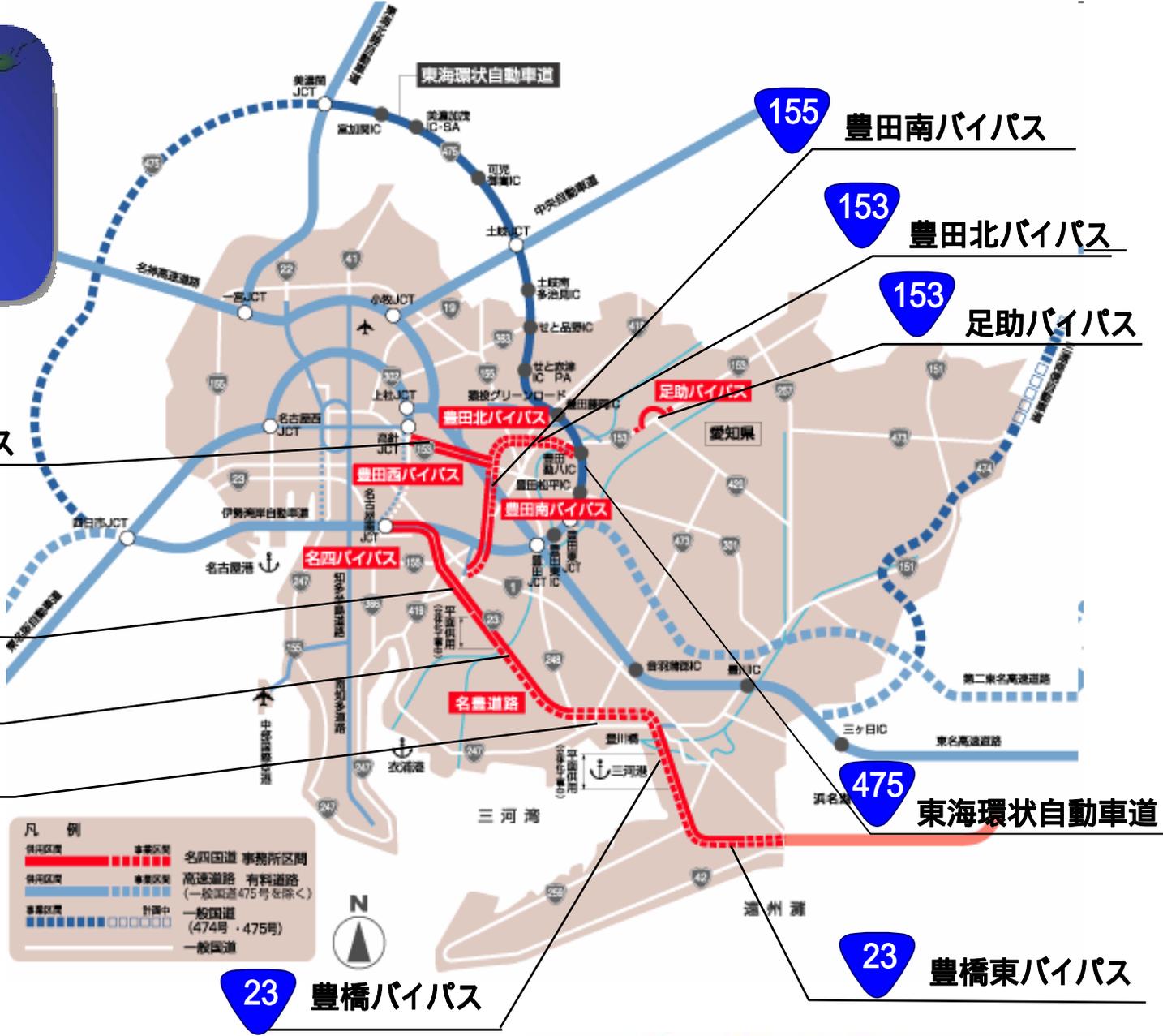
知立バイパス

23

岡崎バイパス

23

蒲郡バイパス



155

豊田南バイパス

153

豊田北バイパス

153

足助バイパス

475

東海環状自動車道

23

豊橋東バイパス

23

豊橋バイパス

凡例

供用区画	事業区画	名四国道 事務所区画
供用区画	事業区画	高速道路 有料道路 (一般国道475号を除く)
事業区画	計画中	一般国道 (474号・475号)
		一般国道

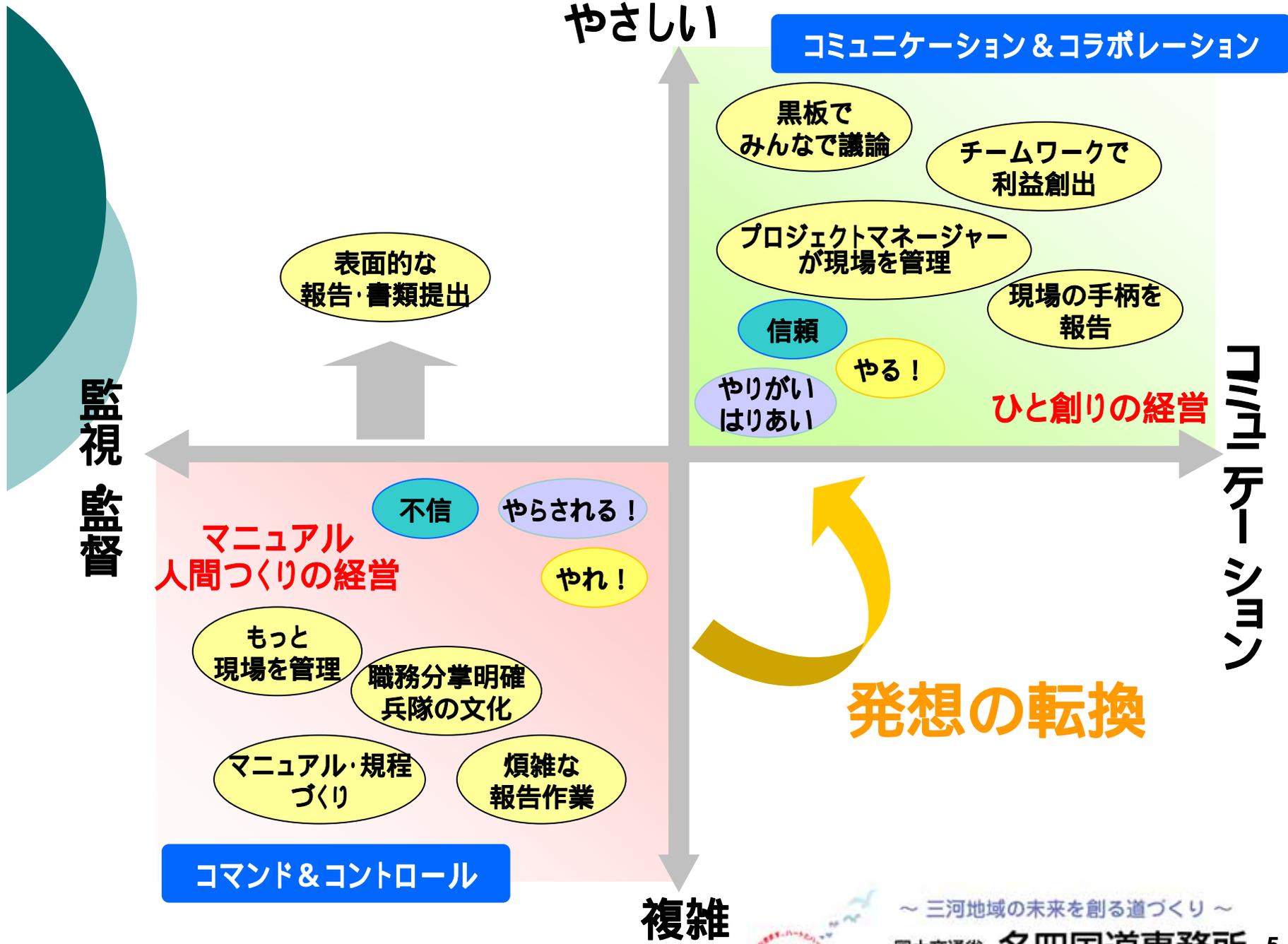


～三河地域の未来を創る道づくり～
国土交通省 名四国道事務所 3

2. CCPMとの出会い



講演会の実施状況



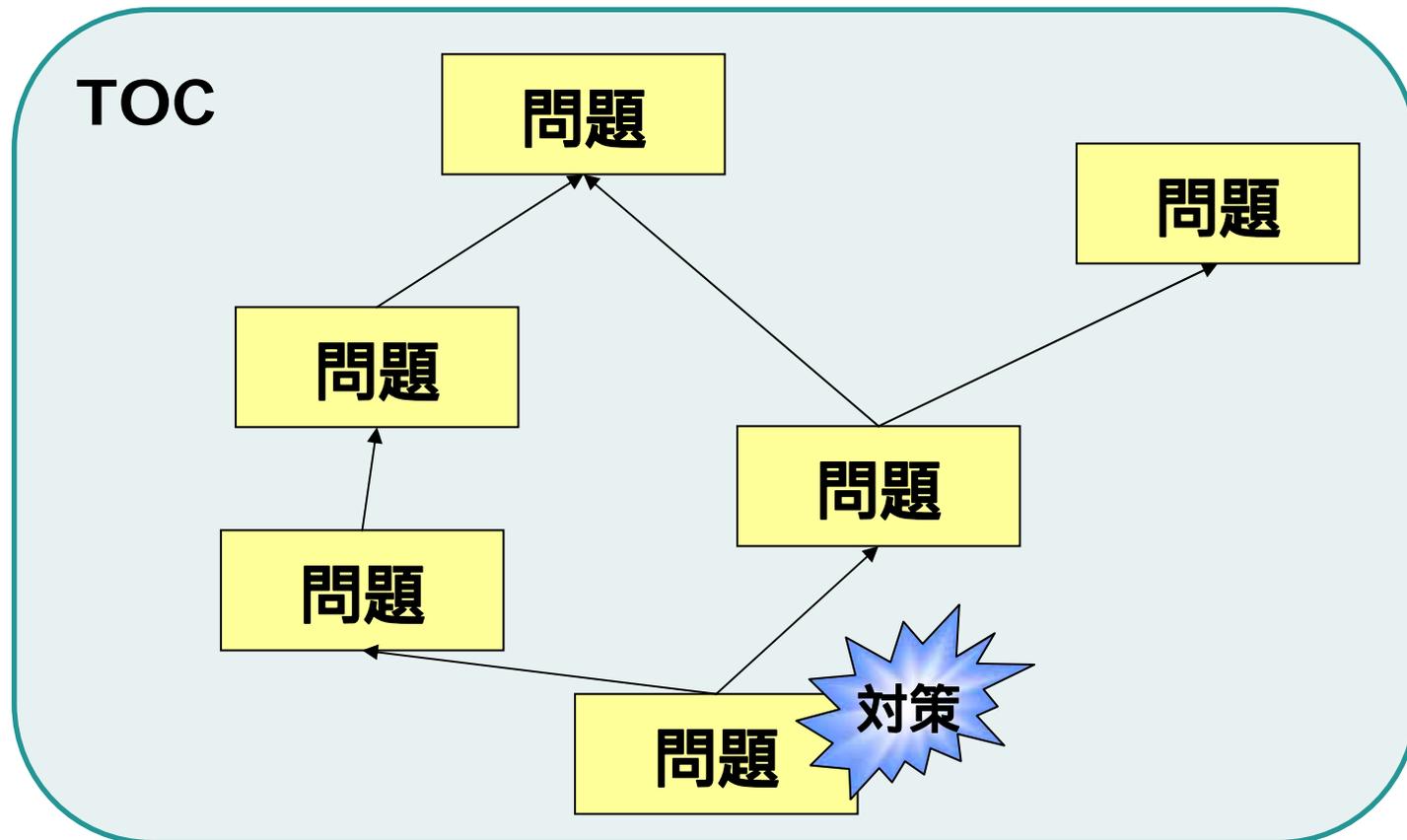
～ 三河地域の未来を創る道づくり ～

3. 業務改善の概要

基本的な考え方

【 TOCの基本理念】

「最も影響の大きい問題を解決することで最大の効果を上げる」



私が
ファシリテーターです



取組体制

現状問題の把握風景



4. 現状問題の把握 ~何を変えるのか?~

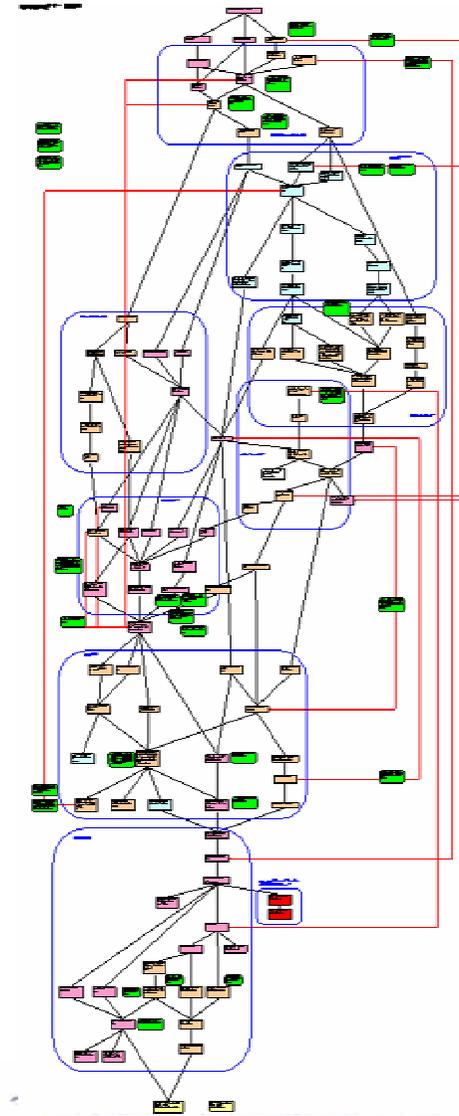
問題を列挙する

問題に、原因と結果の
関係が成り立つかチェックする

列挙した問題を因果関係で結ぶ

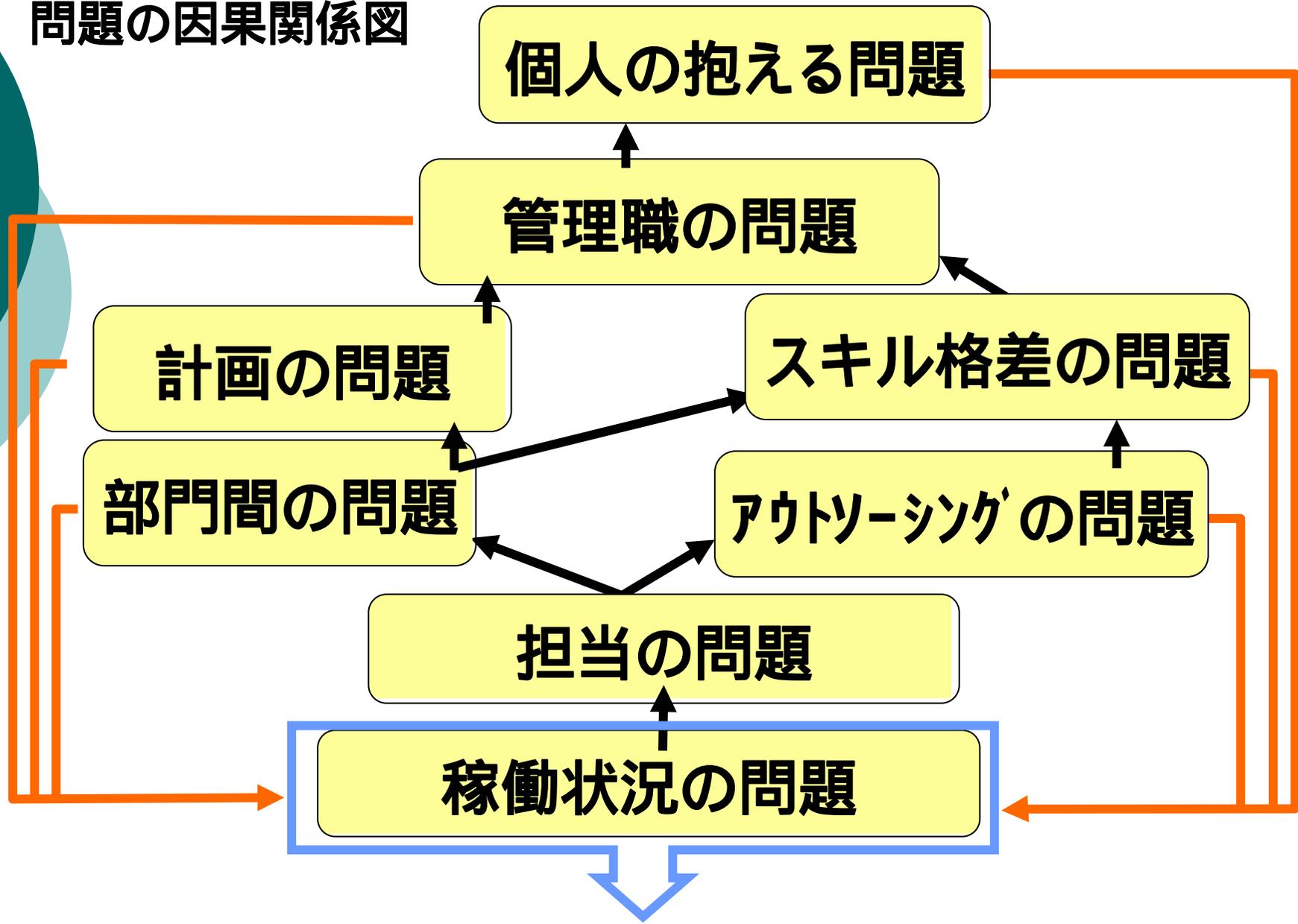
全ての問題が結びつくまで
上記の作業を繰り返す

根本問題を特定する



国土 ▲ 現状問題の全体図 ;

問題の因果関係図

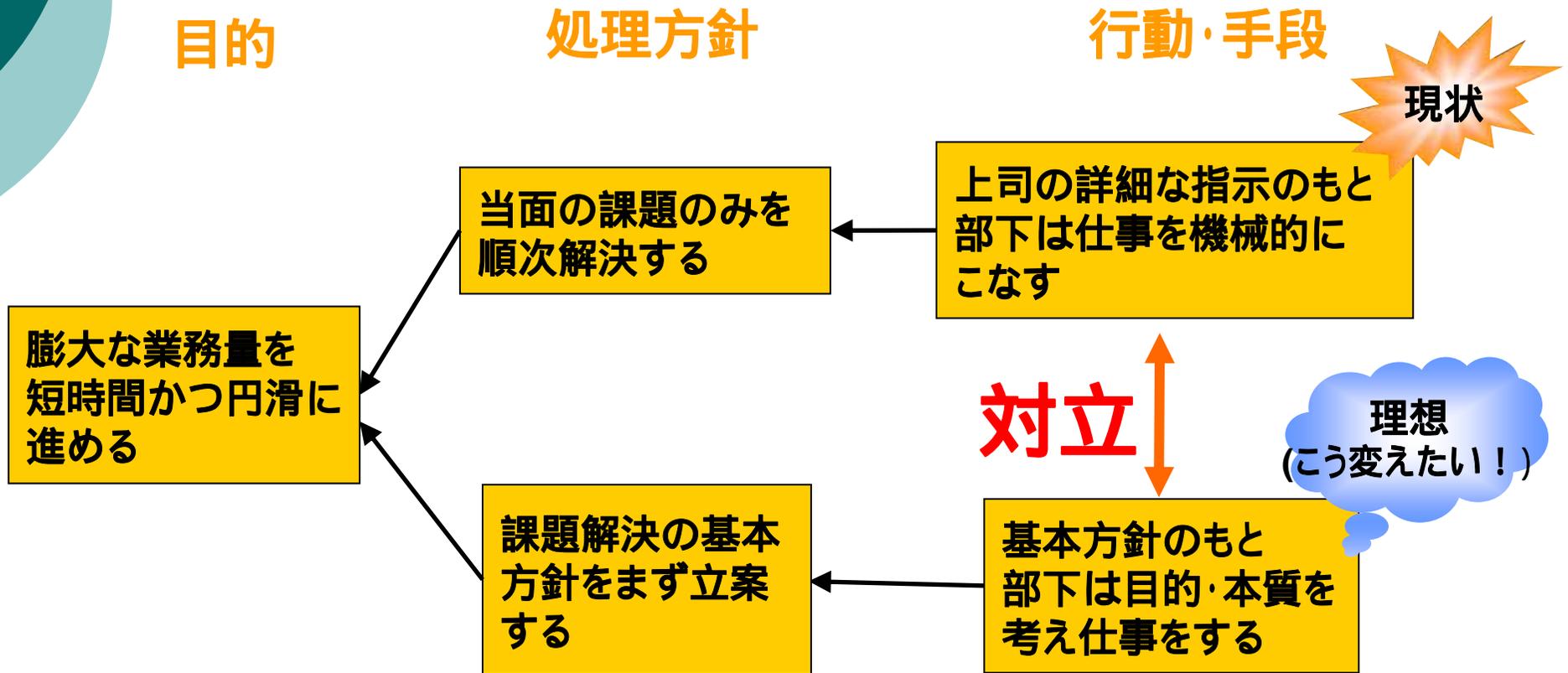


なぜ稼働状況の問題が起こるのか？

5. 問題解決への対策立案 ~何に変えるのか?~

○ 根本問題を発見

稼働状況の問題が起こるのは?



解決策を立案

- 理想の行動に転換！

解決策

関係者全員で、最初に目的・方向性及び
段取りを情報共有する

リスクを全て洗い出し、方針を決定する

対処方法は実務を行う担当者が考える

6 . 解決策の検証 ~どう変えるのか?~

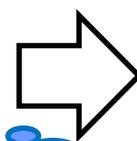
- 一般国道153号足助バイパス舗装修繕プロジェクト



紅葉シーズンの渋滞状況

一般国道153号足助バイパス舗装修繕プロジェクト

表層切削時に打換が必要なクラック発見！



具体的な対策方法は
実務者が立案

問題の指摘
方針決定

潜在的な問題に対し、
現場での着眼点がわかる



現場代理人の方の声！



「方針が決定していたので
問題に対しての発注者の
対応が早くて
とても助かりました！」

「是非、
次回からの工事も、
このような方法で
行って欲しい！！」

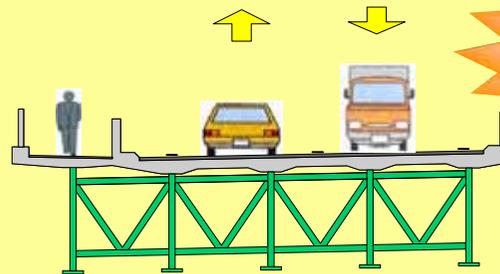
プロジェクト名	一般国道153号足助バイパス舗装修繕プロジェクト
目的 (Objectives)	<ul style="list-style-type: none"> ・所長、副所長の印鑑なしに工事が完成する。 ・発注者も「この工事は俺がやった」と胸をはって説明できる。 ・事務所の担当が、出張所係長へ電話をかける回数が減る。 ・書類の手直しが少ない。 ・発注者と受注者間の書類のやりとりのスピードアップ。 ・工事の手本となる。 ・サービス工事を請けない。 ・ビデオが必要ない施工管理方法を編み出す。 ・地元で信念を持って説明する。 ・習慣や通例に捕らわれない、本質を考えた仕事の仕方をする。
成果物 (Deliverables)	<p>地元や道路利用者の笑顔</p> <p>試行結果の対外発表</p>
成功規準 (Success Criteria)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事務所から工事の仕方を聞いてくる。 ・日経コンストラクションに掲載される。 ・7年連続優良表彰を受ける(V7)

6. 解決策の検証 ~どう変えるのか?~

○ 豊川橋 期線3車線化プロジェクト

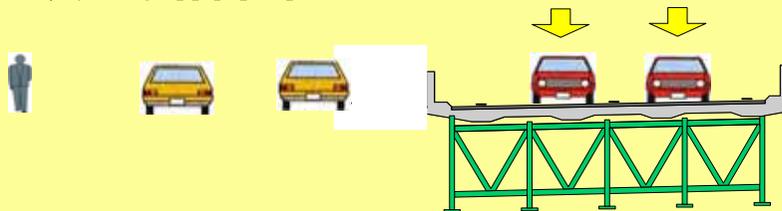
「地域の問題である渋滞を解消する」という目的を関係者で共有

現在



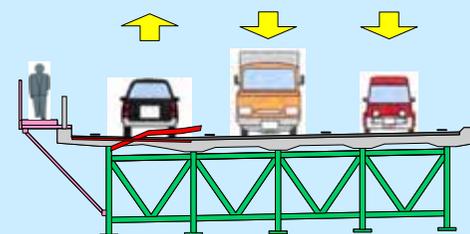
新たな発想!

期線計画



根本対策
建設期間:長期

期線3車線化計画



1年未満で対策可能

プロジェクトのODSC

<p>プロジェクト名</p>	<p>豊川橋 期線3車線化プロジェクト</p>	
<p>目的 (Objectives)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年以内に渋滞をなくす。 ・工事中も、今以上に渋滞はさせない。 ・若手職員が仕事の仕方を学ぶ。 ・地元の企業から喜ばれる。 ・改造費を安くあげる。 ・達成感があった仕事となる。 ・手段(橋の改造)と目的(渋滞解消)を ・経済効果を大きくあげる。 ・調査課と設計課が密に連携をとって ・発注者が設計内容を熟知する。 ・既存概念に捕らわれない橋の設計を 	<p>「これは、設計条件そのもの！」 By 当時設計第2係長</p> <p>参加者が自ら知恵を出し設計案をとりまとめる</p>
<p>成果物 (Deliverables)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・橋 ・改造の設計 ・年20億円の経済効果 	
<p>成功規準 (Success Criteria)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3月末に工事契約をする。 ・5月連休明けに工事着手す ・渋滞長をゼロにする。 ・担当のみで対外協議を完了 ・他の人から「ODSCを見せ ・調査課に、新たな作業依頼 ・4月以降、設計コンサルタ ・地元紙(中日新聞)に掲載 	





目的の共有

「工事中も今以上に渋滞させない」

目的達成のため
自ら考える

「何のために必要なデータ？」

応用力のある
技術の習得

「どのように整理された
データが必要なのか？」

7. 最後に

やさしい

コミュニケーション&コラボレーション

黒板で
みんなで議論

チームワークで
利益創出

プロジェクトマネージャー
が現場を管理

現場の手柄を
報告

信頼

やる!

やりがい
はあり

ひと創りの経営

表面的な
報告・書類提出

監視
監督

マニュアル
人間づくりの経営

不信

やらされる!

やれ!

もっと
現場を管理

職務分掌明確
兵隊の文化

マニュアル・規程
づくり

煩雑な
報告作業

コマンド&コントロール

複雑

目的の共有

着眼点を共有

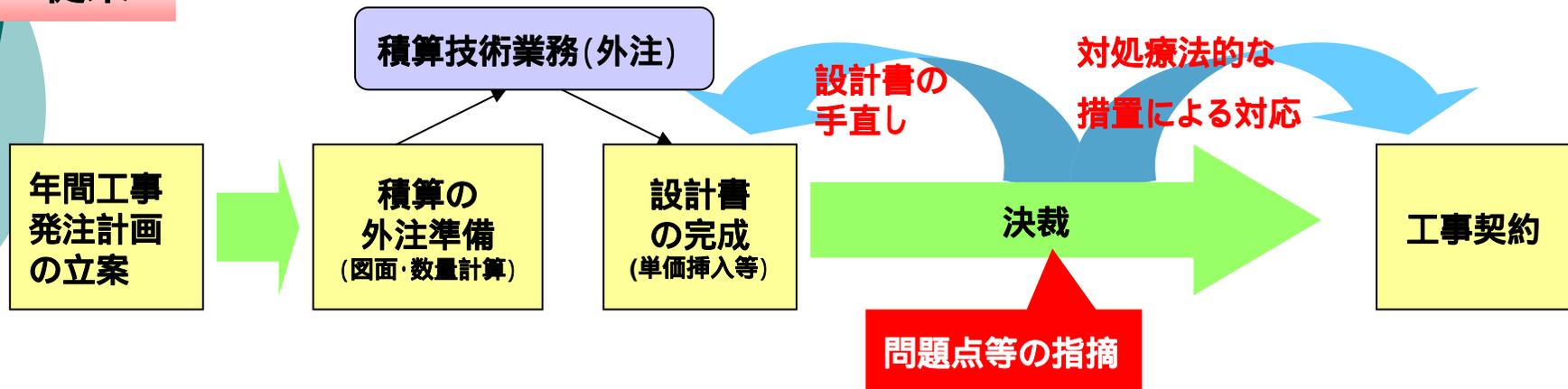
技術の伝承



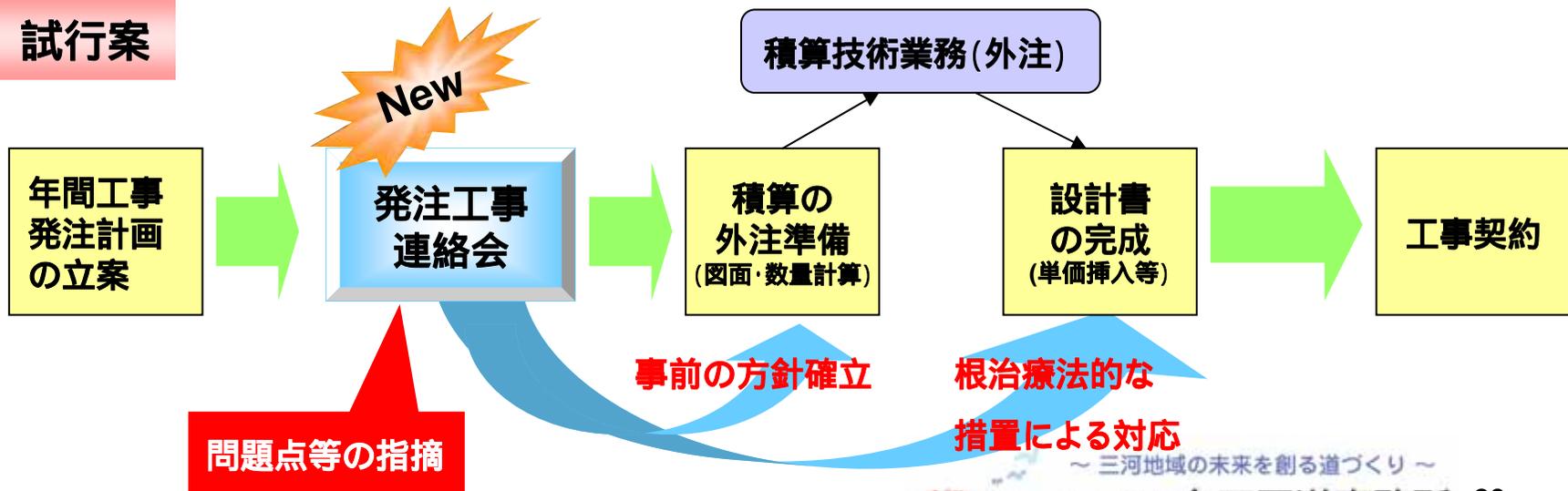
平成20年度の取組

工事積算・発注の流れ

従来



試行案



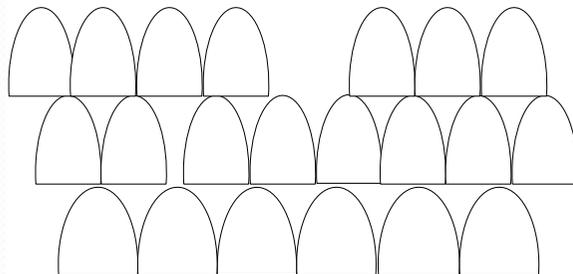
The Goal ~ Meishi National Highway Office version ~

“名四の共創”



2008.5.15撮影

い、3/12.1

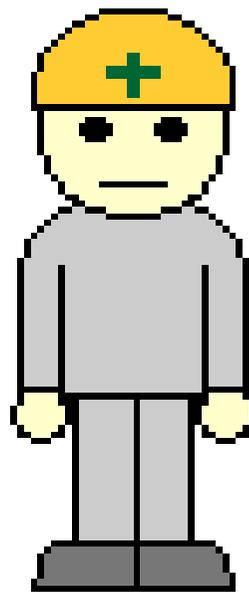


<p>目的 (Objectives)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でもコミュニケーションがとれる職場にする。 ・仕事を心底楽しいと感じられるようにする。 ・一人で考えることをせず、みんなで考える。 ・協力し合える組織を作る。 ・真に国民のために道路事業を行っていることを理解してもらう。 ・国民の声が反映されていると感じられる事業とする。 ・限られた時間を有効に使えるようにする。 ・常に無駄を省く努力をする。 ・正しい情報が、早く伝わるようにする。 ・自分の仕事に対して、「オレ・私がやった」と胸を張って言えるようにする。 ・業務改善手法を事務所全体に広める。 ・継続的に改善の取り組みを行う。 ・地整全体の模範になる。 ・ワンデーレスポンスを完全実施する。 ・地元住民に対してもワンデーレスポンスを目指す。 ・事務所を知ってもらう。 ・工事を止めることなく完成させる。 ・超過勤務を無くす。 ・方針を元に戦略が自ら立てられるようにする。
<p>成果物 (Deliverables)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活気のある職場 ・デキる職員
<p>成功規準 (Success Criteria)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見が「いつでも」主張できる。 ・気軽に打合せが発生する。 ・施工業者に完成時に、真にありがとうと言ってもらう。 ・一般紙に取り上げられる ・ゴールドラット博士に認めてもらう。 ・事務所長と副所長の決裁を無言でもらえる。 ・毎年プロジェクトが増える。 ・手戻りを無くす。 ・すべて担当だけで決裁をとる。



～ 三河地域の未来を創る道づくり ～
国土交通省 名四国道事務所

ご清聴ありがとうございました



～ 三河地域の未来を創る道づくり ～

国土交通省 **名四国道事務所** 22